

森町立宮園小学校 学校だより

統合52年目

第13号

平成30年11月6日



燦たり宮園

平成30年度 宮園小学校 運動会

平成30年度 森町立宮園小学校の運動会が10月28日（日）に開催されました。予定していた10月27日（土）はあいにくの天候で、1日順延となりましたが、運動会当日の29日（日）は雲一つ無い秋晴れで、児童は元気いっぱい徒競走、学年種目、学年表現運動、全校種目に取り組みました。

PTA 生活部、本部役員の皆様には早朝より駐車場係として活動していただきました。また、運動会終了後には、多くの保護者の皆様に片付けをお手伝いしていただき本当にありがとうございました。

運動会当日には、来賓、地域、保護者の皆様に参観していただき、児童も日頃の力以上の力が発揮できました。本当にありがとうございました。

当日の様子の一部を写真にて紹介します。



ラジオ体操



徒競走（4年）



徒競走（3年）



低学年表現種目



高学年団体種目



徒競走（2年）



徒競走（1年）



中学年表現種目



徒競走（5年）



徒競走（6年）



全校種目



低学年団体種目



中学年団体種目



高学年表現種目



応援合戦（白）



応援合戦（赤）



10月25日 会礼での学校長のはなし

〇〇の秋と言われますが、秋は人が集中するのに適した温度約18度に近い気温になることが多く、集中しやすい季節と言えます。本校でも、10月30日(火)～11月9日(金)までを読書週間とし、本に親しむ機会としています。

今回の会礼では、学校長から読書への親しみ方についての話がありました。保護者の皆様もお子さんに読書の楽しさを是非伝えてあげてください。



今日は、まず、陸上大会に出場した6年生のことについてお話しします。もちろん、成績の良かった人や自己新記録を出した人達がいたことは素晴らしかったのですが、それよりも応援する態度が素晴らしかったのです。本部席から近いこともあって、宮園小の6年生たちの応援する声がよく聞こえてきました。最後の宮園小の選手が競技を終えるまで、声を合わせ一生懸命に声援を送る6年生の皆さんは輝いて見えました。私は、そんな6年生を誇りに思います。下級生の皆さんも見習ってください。

さて、来週から読書週間が始まります。今日は、みんなと読書について考えたいと思います。

「読書は良い」とよく言われますが、一体何が良いのでしょうか。

まず、国語の力が付きます。つまり、国語の成績が良くなるってことです。文章を読む力はもとより、作文の力も上がります。でも、1冊読んだからすぐ良くなるってことはありません。常に読み続けることが重要です。

次に、非日常の世界を体験できます。サッカーや野球のプロ選手、宇宙飛行士、昔のお侍さん、透明人間、それ以外にも本に登場してくる様々な人になって、普通では体験できないようなことを体験できます。だからこそ読書は面白いのです。

最後に、偉人の考え方や言葉に触れることで、自分の生き方の道しるべになるということです。先日ノーベル賞を受賞した本庶佑博士は、子供の頃に野口英世の伝記を読んで、将来難病に苦しむ人達を助けたいと心に誓ったそうです。皆さんも読書を通して、将来の夢が見つかるかもしれません。

以上の3つが、私の思う読書の良いところです。皆さんはどのように考えたでしょうか。

宮園小では、年間読書目標冊数を決めています。皆さんは知っていますか。1、2年生は100冊、3年生は80冊、4年生以上は50冊です。たくさんの1年生が、朝8時から図書室に行って、本を借りているのをよく見かけます。きっと、1年生たちは100冊を読み切ってしまうだろうと期待しています。他の学年の人達も1年生に負けないように頑張りましょう。